



自転車競技 シクロクロス選手 **辻浦 圭一** さん 東京都在住 大和高田市出身

橿原市で生まれ小学生から大和高田市で育ちました。中学の頃はブラックバス釣りが好きで移動手段として自転車で国道169号を走っている時、吉野川の対岸に「吉野高校自転車部インターハイ出場」と書いた横断幕を見て、ここに入れば自転車に乗れるという安易な気持ちで入学して自転車競技部に入学しました。卒業してもレース活動を続け2003年にシクロクロス競技での優勝をきっかけに国際レースも経験し9年連続全日本チャンピオンになりました。尊敬できる恩師と先輩に高校の時に巡り合えた事で故郷への思い入れが強く、国民体育大会は奈良県代表として11回出場させてもらいました。2012年、重症筋無力症という難病を発症して一線を退きましたが、自転車と奈良の魅力を伝えたいという気持ちを持ちました。そして「ツアー・オブ・奈良・まほろば」という、観光地を自転車でのんびり巡り地域と触れ合う素晴らしいイベントがあり微力ながら協力させてもらいました。いろいろな形で奈良の魅力や楽しみ方を日本全国、そして世界に発信される事を期待しています。

人権コーナー

毎月11日は
人権を
確かめあう日



てんいち先生 ひかりちゃん

今月のポスター



県立大淀養護学校 中学部 1年
きた たくや
北 拓也さん



五條市立 五條西中学校 3年
なかた みく
中田 未来さん

～障害のある人もない人もともに 暮らしやすい社会づくりを目指して～

奈良県では、平成27年3月に「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」を制定しました(平成28年4月1日から施行)。

この条例では、障害を理由とする差別の禁止、障害を理由とする差別があった場合の相談窓口の設置、障害及び障害のある人に関する理解の促進等について規定しています。

社会には、障害のある人が毎日の生活を送る上で支障となる障壁(バリア)があります。今はバリアを感じない人も、年を取ったり、病気や事故により、いろいろなバリアを感じる場合があります。

みんなが障害のことを知って、それぞれの立場でできる配慮や工夫をすることにより、バリアが無くなれば、障害のある人だけで無く、誰にとっても暮らしやすい社会になります。

奈良県では、そうした障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくりを目指していきます。

クイズ & プレゼント

○○○○に当てはまる
アルファベットを答えて
ください。

Q 来年4月に開校する
なら食と農の魅力創造国際
大学の通称は?

A N○○○○○
ヒントは5ページ

10月号の答えは
“モデル”でした。
応募総数275件。

正解者の中から抽選で

万葉日本画カレンダー※を
10名の方にプレゼント!

※1部1,000円(税込)で発売中。万葉文化館ミュージアムショップ、奈良県ビジターズビューロー、奈良まほろば館で購入できます。

問 万葉文化館 ☎0744-54-1850 万葉文化館 検索
※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

締め切りは
12月31日
(消印有効)

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。
HP(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも12/1以降応募できます。